

安全データシート

改訂日:2020年6月19日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称

塩化カリウム溶液

* このSDSが適用される製品名は別表1を参照。

会社名

米山薬品工業株式会社

住所

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

電話番号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

整理番号

AD0532S

別表1.当SDSの適用品名一覧
飽和塩化カリウム溶液
4mol/L 塩化カリウム溶液
3.3mol/L 塩化カリウム溶液
3mol/L 塩化カリウム溶液
1mol/L(1N)塩化カリウム溶液
0.07mol/L 塩化カリウム溶液
0.01mol/L 塩化カリウム溶液

2. 危険有害性の要約

GHS分類

別表2 各塩化カリウム溶液濃度とGHS分類及びラベル要素対照表

GHS分類及びラベル要素	塩化カリウム溶液濃度(品名)	飽和塩化カリウム溶液 4mol/L 塩化カリウム溶液 3.3mol/L 塩化カリウム溶液 3mol/L 塩化カリウム溶液	1mol/L(1N)塩化カリウム溶液 0.07mol/L 塩化カリウム溶液 0.01mol/L 塩化カリウム溶液
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B	
ラベル要素	絵表示又はシンボル		
	注意喚起語	警告	
	危険有害性情報(コードのみ)	H320	
	注意書き ^(※1) (コードのみ)		
	【安全対策】	P264	
	【応急措置】 ^(※2)	p305+351+338 p337+313	
	【保管】 ^(※2) 【廃棄】 ^(※2)		

※1)表中にて、危険有害性情報と注意書きはコードのみ記載しております。各コードに割り当てられた文言は、下記をご参照ください。

※2)SDS及びラベル記載の危険有害性情報・注意書きについて、弊社の製品管理方法、弊社製品の化学的性質に基づき、GHSガイダンスに従い、コードの文言を省略又は変更する事があります。

危険有害性情報

眼刺激(H320)

注意書き

【安全対策】

取扱い後は手などをよく洗うこと。(P264)

【救急措置】

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

危険有害性情報

【保管】

容器を密閉し、涼しく換気の良いところで、施設して保管すること。

注意書き

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

塩化カリウム溶液

慣用名又は別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
濃度又は濃度範囲

—
KCl (塩化カリウム)
CAS RN : 10102-17-7
①塩化カリウム ②水
※各製品の含有量は、別表3. 濃度表を参照

官報公示整理番号(化審法、安衛法)

(1)-503/公表

別表3.濃度表

表示濃度	成分①	含有量 (重量%)	成分②	含有量
飽和塩化カリウム溶液	塩化カリウム (CAS RN 7447-40-7)	約30	水 (CAS RN 7732-18-5)	残り
4mol/L 塩化カリウム溶液		29.82		
3.3mol/L 塩化カリウム溶液		24.60		
3mol/L 塩化カリウム溶液		22.37		
1mol/L (1N) 塩化カリウム溶液		7.46		
0.07mol/L 塩化カリウム溶液		0.52		
0.01mol/L 塩化カリウム溶液		0.07		

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除く。皮膚を流水/シャワーで洗う。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

飲み込んだ場合

水でうがいをさせ、水又は牛乳を飲ませる。無理に吐かせてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

不燃性である。周辺火災に適した消火薬剤を使用する。

使ってはならない消火剤

該当情報なし。

特有の危険有害性

該当情報なし。

特有の消火方法

該当情報なし。

消火を行う者の保護

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

こぼれた物質をプラスチック容器内に掃き入れる。湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる。

二次災害の防止策

該当情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

眼に入れないこと

酸化剤、酸との接触を避ける。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

保管

安全な保管条件

換気のよい涼しい場所に直射日光を避けて保管する。密封保管。

容器包装材料

ポリプロピレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度

未設定

日本産業衛生学会

未設定

ACGIH	未設定
設備対策	取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	保護マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
目の保護具	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護エプロン等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	液体
色	無色
臭い	無臭
融点/凝固点	該当情報なし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火点	不燃性
分解温度	該当情報なし。
pH	中性 5.5～8.0(25°C, 50g/L)
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	25.6g/100g(20°C 水) アルコールに難溶、塩酸に不溶、アルカリに溶ける。
n-オクタノール/水分配係数(混合物の場合略可)	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	該当情報なし。
相対ガス密度	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取り扱いに於て安定。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	直射日光、高温、多湿
混触危険物質	強酸化剤、強酸
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	経口： LD50-ラット 2600mg/kg、3020mg/kgのデータがあり、いずれもUN区分5 (JIS区分外)。[塩化カリウムとして] 該当情報なし。[塩化カリウムとして]
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギのドレイズ試験において、500 mg/24H Mildのデータがあり、区分2Bとした。(区分2B)[塩化カリウムとして] 濃度調製品は危険有害性区分に該当する成分を濃度限界(10%以上)含有する製品を区分2Bとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器： 該当情報なし。[塩化カリウムとして] 皮膚： 該当情報なし。[塩化カリウムとして]
生殖細胞変異原性	該当情報なし。[塩化カリウムとして]
発がん性	該当情報なし。[塩化カリウムとして]
生殖毒性	該当情報なし。[塩化カリウムとして]
特定標的臓器毒性(単回暴露)	該当情報なし。[塩化カリウムとして]
特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし。[塩化カリウムとして]
誤えん有害性	該当情報なし。[塩化カリウムとして]
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期(急性)： 該当情報なし 長期(慢性)： 該当情報なし
残留性・分解性	該当情報なし
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(分類できない)

13. 廃棄上の注意

化学品, 汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
 空容器の処理を委託する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号

—

品名(国連輸送名)

—

国連分類

—

副次危険性

—

容器等級

—

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
 重量物を上積みしない。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送

消防法の規制に従う。

海上輸送

船舶安全法の規定に従う。

航空輸送

航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

—

15. 適用法令

化審法

特定化学物質に該当しない。

化学物質管理促進法(PRTR法)

指定化学物質に該当しない。

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物に該当しない。

労働安全衛生法

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
 16615の化学商品(化学工業日報社)
 職場のあんぜんサイト(厚労省HP)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。